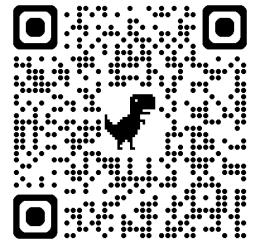


「食」は世界をつなぎ、分断する ～食品のサプライチェーンをめぐる人類学～

私たちが日々口にする食べ物は、どこから、誰の手を経て、食卓へと運ばれるのか。本シンポジウムは、さまざまな地点を経て私たちの口に入ることになるツバメの巣や水産加工品に注目し、その養殖・採集・加工・流通・消費の各現場にあらわれる諸問題を考えることで、世界各地を巻き込んで築かれるそれらの食品のサプライチェーンの一端を捉えることを目指す。



日時 2025年4月5日(土)13時30分～17時10分

会場 南山大学 G棟 G27教室、オンライン併用

お申込み <https://app.nanzan.ac.jp/regform/regist/univ/jinruikenreception/symposium01>

申込締切4月5日13時30分

プログラム

・13:30-13:45 藤川美代子(南山大学)
趣旨説明

・13:45-14:25 佐久間 香子(東北学院大学)
なぜツバメの巣を“養殖”するのか？
—生産から消費の間のコンテクストを読み解く

・14:25-15:05 吉田 真理子(広島大学)

Values in the Shell:

Translation, Practices, and Indexicality in the Plumping of Oysters
in Japan ※使用言語は日本語

・15:05-15:45 藤川 美代子

この海藻、海女さんが潜って採ってるの？

—日本と台湾の寒天製造を支えるサプライチェーンと知識の接続／断絶

・15:45-16:00 休憩

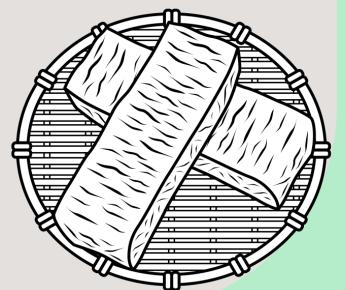
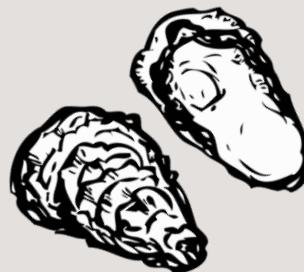
・16:00-16:20 富田 敬大(神戸大学)

コメント

・16:20-16:40 内尾 太一(静岡文化芸術大学)

コメント

・16:40-17:10 総合討論



●お問い合わせ●南山大学人類学研究所

Phone : 052-832-3111(代表)

Email : ai-nu@ic.nanzan-u.ac.jp

HP : <https://rci.nanzanu.ac.jp/jinruiken/>

Facebook : 「人類学研究所」で検索

X : @jinruiken

主催 : 人間文化研究機構「グローバル地域研究
推進事業」神戸拠点:神戸大学国際文化
学研究推進インスティテュート「なりわい
とグローバル経済」グループ

共催 :



南山大学人類学研究所

Anthropological Institute, Nanzan University